

## スクリーン印刷用インキ

# ガラス

(二液反応型)

ガラスインキは、二液反応型のエポキシ樹脂インキでガラス、陶磁器、鋼鉄、熱硬化性プラスチック等に幅広い素材に利用でき、耐薬品性の強いインキです。

### 特 徴

- 非常に広い範囲の基材に対し、接着が良い二液反応型インキです。
- 蒸発乾燥型インキに比べ抜群の強度を有します。
- 肉盛り感、光沢のある塗膜の強い印刷ができます。
- インキ切れが良く印刷適性が良好です。
- 糸引き現象がなくシャープなエッジの平滑な仕上がりになります。
- グロス調の仕上がりになります。(色により、光沢度の違いがあります。)
- 耐薬品性、耐摩耗性、耐溶剤性の強い塗膜が得られます。

### 用 途

- |          |               |         |
|----------|---------------|---------|
| ● ガラス    | ● セラミック       | ● 鋼鉄    |
| ● アルミ    | ● ステンレス       | ● 金属塗装面 |
| ● 熱硬化性樹脂 | ● 処理オレフィン系の成形 | 等々      |

### 標 準 色

- 6色  
白・黒・メジューム・7H赤・青・無鉛黄  
※製品形状はインキ・硬化剤樹脂共に 500g となります。

### 使用方法

- ガラスインキには、ガラス硬化樹脂が必要です。  
ご使用に際してはインキ 70 部に対して、ガラス硬化樹脂 30 部を良く混合攪拌のうえご使用ください。  
※混合したインキは、経時により少しずつ増粘していき、接着性に影響を与えますので、8～12 時間の可使用時間内に使い切るように調整を行ってください。

### 乾 燥

- 自然乾燥 常温 (25℃) × 48～72Hr ● 指触乾燥 3Hr  
焼付乾燥 100～120℃ × 20min

※白インキおよび淡白色の焼付を行う時は、100℃以上で行うと黄変することがあります。

## 希釈剤

- エイトソルベント 特速乾
- エイトソルベント 標準
- エイトソルベント 遅乾

## 塗膜性能

色：黒 乾燥条件：120℃×20min 印刷素地：ガラス

試験項目	試験内容	結果
耐摩耗性	500g 荷重ガーゼラビング往復回数	100 回（目視で有意差なし）
耐アルコール性	500g 荷重メタノールラビング往復回数	100 回（目視で有意差なし）
耐油性	500g 荷重日清キャノーラ油ラビング往復回数	100 回（目視で有意差なし）
耐洗剤性	500g 荷重マジックリンラビング往復回数	100 回（目視で有意差なし）
耐トルエン性	500g 荷重トルエンラビング往復回数	100 回（目視で有意差なし）
耐水性	水道水中 168 時間浸漬	クロスカット 0/100
耐酸性	10% $H_2SO_4$ 中 24 時間浸漬	クロスカット 0/100
耐アルカリ性	5% $NaOH$ 中 24 時間浸漬	クロスカット 0/100
鉛筆硬度	三菱鉛筆（ユニ）	2H

※上記の試験は実験値であり、保証値ではありません。